

# モールドバランサ

■ 山崎 勇輝  
Yuki Yamazaki

## 1 概要

現在、単相3線式の低圧配電線路において負荷の偏りによる電圧不平衡を解消するために低圧配電線の末端に油入バランサを接続しているが、経年による錆等に対するメンテナンスや、油漏れ等の事故が問題点として挙げられる。このため東光高岳ではオイルレス・タンクレスを目的に、屋外用エポキシ樹脂を使用したモールドバランサの開発を進めている。

## 2 仕様

仕様は下記のとおりである。

表1 モールドバランサの仕様

| 項目    | 仕様                       |
|-------|--------------------------|
| 定格電圧  | 100/200 V                |
| 定格容量  | 1 kVA                    |
| 定格電流  | 10 A                     |
| 定格周波数 | 50/60 Hz                 |
| 寸法    | W 220 × H 250 × D 180 mm |
| 総質量   | 20 kg                    |

## 3 特長

モールドバランサの主な特長は以下のとおりである。

- (1) コイルを屋外用エポキシ樹脂で一体モールド化することでタンクが不要となり、メンテナンスが容易。

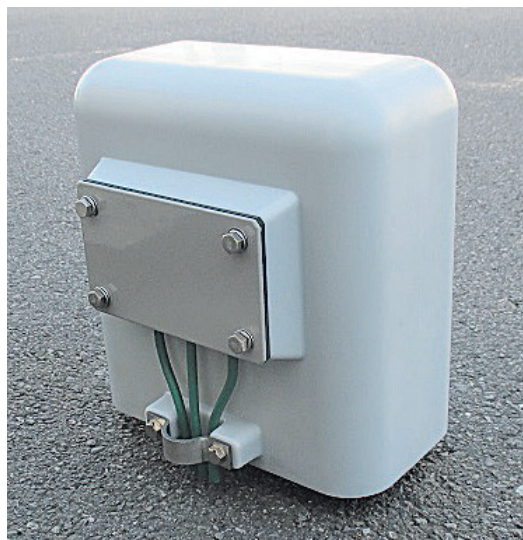


図1 モールドバランサの外観

- (2) オイルレスのため、漏油等の問題がない。  
(3) 屋外用エポキシ樹脂は鉄道車両用の特高変成器で長年使用実績があり高信頼性がある。

山崎 勇輝

計量事業本部  
モールド変成器製造部 設計グループ 所属